

幻想的なホタルの乱舞

田口町

ほたるを守る会



中学生や団体などにホタルについて説明もしていますと語る芝田さん。

「子どもたちは、ホタルが光っているところを見ると、素直に感動してくれま

す。どうしてこんなに飛んでいるのか。自分の家の周りにはなぜいないのかとか、ホタルや自然環境に興味を持ってもらっています」

ほたるを守る会は、昭和

63年に発足。草刈りなど周辺環境の整備、ホタルの餌になるカワニナの養殖など、

ホタルの保護に取り組んでいる。地域でホタルを育てることにより、ほたるの里への愛情も育てている。

「ほたるの里の案内所では記帳してもらっています。1日で2,000人以上の時も。県外からの見学者も大勢来てくれてます。ことは良く飛んでいきますねと声を掛けられるとうれしいですね」

毎年、その年のホタルの

第1発見者などをほたる祭りで表彰。子どもたちは、



田口町ほたるを守る会
会長 芝田 美行さん
76歳



力を合わせて草刈り



ホタルの乱舞

ホタルが光り出す前から興味を持つようになり、ホタルを愛する心が根付いている。

「ほたる祭りに合わせて、

帰省してくる人もいます。ほたるの里は田口町に住む

人たちの心のふるさと。また、地域外の人にも、多く足を運んでもらい、ホタルの幻想的な光を楽しんでほしいですね。これからも、自然に親しむ大切さをしっかり伝えながら、ほたるの里を守っていきます」

古墳のふるさと上川淵

上川淵地区

地域づくり協議会



大学生などにも協力してもらっているんですよと話す根岸さん。

上川淵地区は古墳のふる

さと。地元の歴史を見直すために、竪穴式住居を前橋工科大の学生に協力してもらった。

「学生が設計し、作業も協力してもらいました。大工をしていた人の指導が進めたんですが、縄の縛り方

など、大工の技術を目の当たりにし、勉強になったと喜んでいました」

また、高崎経済大学の学生と協力し安全安心マップの作成もしている。

協議会は、「安全安心」と

「食農教育」を中心に活動。世代間交流と地域の力を高める取り組みを進めている。

「さまざまな活動を行う時に、地域の人の協力は必須。それ以上いろいろな人に声を掛け協力してもらっています。この活動が始まってから、地域のきずなが強くなりました」

古代米やサツマイモ、落

花生も栽培。サツマイモの収穫では、子どもたちの大きな歓声が響いた。また、自治会や青少年健全育成会と連携し、あいさつ運動にも取り組む。

「子どもたちから、先に

あいさつしてもらった時は、うれしかったですね。地域づくり運動も根付いてきたことを実感します。これから

も、地域の輪を大切に、ふるさと上川淵を次世代の子どもたちにしっかり伝えていきます」



上川淵地区地域づくり協議会
会長 根岸 秀典さん
71歳



竪穴式住居を再現



みんなで楽しく収穫



「出愛い」
心と心が触れ合うとき
そこに生まれる温かな気持ち
すてきな人との出愛い
すてきな花との出愛い
すてきな景色との出愛い
そんな、心ときめく出愛いが
前橋にはあります

出愛いから出愛いへ
あなたの出愛いを探しに出掛けませんか